

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年5月分】

1. 実施した活動の概要・状況

5月から脇野沢で夢の平成号によるイルカウォッチングが始まったため、週に1回程度の平成号に乗船してのガイドおよび下北地域内の親子を対象としたイルカウォッチング、さらに青森大学むつキャンパスの学生を対象としたイルカに関する講座を企画した。また、ゴールデンウィークには、かわうち・まりん・びーちで春のカヤック体験会も行った。

（主な活動）

◇5月5日（木・祝） 春のカヤック体験

かわうち・まりん・びーちから川内川下流までのカヤックを体験する有料のプログラムを企画し、募集を行った。3名から応募があったが、悪天候による延期のため、当日は2名がプログラムに参加した。カヤックに乗りながら川内川で行われているシロウオ漁の見学などもできた一方、参加者の体力的にコースが長かったという反省点もあるため、今後のアクティビティ開発につなげていきたい。



◇5月28日(土) 親子でイルカウォッチング

5月28日から3週連続で、下北地域内の親子を対象としたイルカウォッチングプログラムを行う。15年以上陸奥湾のイルカの調査を実施してきた青森大学の清川繁人教授を講師に迎え、むつ市海と森ふれあい体験館内で講義をしていただいた後、脇野沢港から夢の平成号に乗船してイルカウォッチングを行う予定となっている。

28日は24名の参加があったが、船が欠航したため陸からのイルカの観察となった。最終的にイルカを見ることは叶わなかったが、「行ったことのない場所に行けてよかった」、「先生の話が興味深かった」など、アンケートでは好意的な意見が多く寄せられていたため、残り2回も同様の形でイベントを続けていきたい。



◇5月31日(火) 青森大学むつキャンパス カマイルカ調査

4月に青森大学むつキャンパスが開設されたため、当NPO法人とむつキャンパスの交流の第一歩として、前述の清川先生とともに夢の平成号でカマイルカの調査を行う予定だった。しかし、この日も悪天候によって船が欠航したため、急遽学生15名には体験館に集まっていただき、清川先生のオンライン講座および体験館の見学会を行った。学生は体験館内を興味深く見学し、カヤックなどのアクティビティにも興味を示していたため、今後も様々な事業で交流を行っていきたい。



2. 翌月の活動予定

6月は引き続きイルカウォッチングを行う。また、清掃活動や海と日本プロジェクトの助成事業も実施していく予定である。

さらに、5月28日のイベント時には死んだ状態で漂着したカマイルカの発見し、確保したため、これについての調査も進めていく。

6月 4日、11日 親子でイルカウォッチング@陸奥湾

6月12日 かわうち・まりん・びーち海岸清掃

6月26日 海と日本プロジェクト ホタテ養殖教室